

令和元年度

事業報告書  
決算報告書

自 平成 31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月 31日

一般社団法人 企業合理化協会

# 令和元年度事業報告

令和元年度における事業報告を次の通りにいたします。

企業の振興と地域社会の発展に寄与するため、定款、施設の設置目的に照らし合わせ、企業人の育成、施設の管理運営に務め、厳しい経済環境の中、一層の経費削減を図りながら、事業の収益性の向上を図りました。

## 1. 実施事業 (継続1)

### 研修事業

#### 講師派遣

- |         |                             |
|---------|-----------------------------|
| ① 実施事業名 | 自動車販売会社マネージャー研修             |
| 実施月日    | 令和元年10月17日～10月18日           |
| 参加人員    | 25名                         |
| 講師      | (株)インタフェイス<br>五十嵐 仁 他スタッフ3名 |
| ② 実施事業名 | 新入社員基礎研修 (開催中止)             |
| 実施予定日   | 令和2年3月26日～3月27日             |
| 講師      | (株)弘ビジネス教育研究所<br>代表 栗原 弘    |

## 2. その他事業 (他1)

### 研修施設運用

令和元年度は宿泊数、研修会場使用回数等、前年に比して利用が微減となりました。

2月半ばまでは前年度と同様の利用状況で推移していましたが、それ以降、年度末まで新型コロナウイルス感染流行の影響で殆どの予約がキャンセルとなりました。その結果、令和元年度は宿泊者が前年に対して660名の減となりました。研修室利用は微減、体育館利用は前年対比18%増の結果となりました。

令和元年度においても、相変わらず、企業研修及び各種団体の経費削減、加えて新型コロナウイルスの影響により利用件数は減少ではありましたが、規模の大きな団体の利用が多く、前年度と比して施設の総売上は前年対比95%の微減に留まりました。

施設運用においては従来通り、利用者の安全に十分配慮し、下記の事項に重点を置き施設運用を図りました。

- ①新規で、札幌以外の地域の小中学生の体験宿泊研修の場としての利用促進。
- ②既存の顧客に限らず、利用が多いスポーツ団体、音楽団体のさらなる利用促進。
- ③企業、団体の利用については、視聴覚機器の充実等、さらなる利便性を図り、従来からの顧客に継続的利用を働きかけるとともに、新規および過去に利用歴のある顧客への働きかけ。
- ④利用が減少する 冬期間の利用者増を目指し、除雪態勢の充実。

# 産業技術教育訓練センター

## 利用状況表

（令和元年4月1日～令和2年3月31日）

月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	前年計
宿泊数	1,267	956	1,041	1,018	985	986	1,022	1,080	390	385	380	46	9,556	10,223
給食数	3,853	2,691	2,851	2,418	2,543	3,001	3,077	3,431	992	1,231	1,287	194	27,569	30,671
研修室	130	41	66	43	33	84	38	57	21	35	43	13	604	723
体育館	27	15	26	24	54	47	37	45	8	13	1	0	297	251

注：研修室、体育館の使用実績は区分集計となっています

（尚、区分は一日を午前、午後、夜間の3区分となっています）

### 3. 研修施設の維持・管理

良好な施設の維持管理に努め、利用者の安全、環境整備を図るために下記項目を実施

①防災と事故防止の徹底 防火訓練および防火設備の点検

春・秋の消防設備点検 防火訓練（2回）29年7月札幌中央消防署より適合表示マーク受領（金マーク）

②保健衛生の管理の徹底

高架水槽定期清掃、水質検査（6月）

③清掃、除雪、敷地内環境整等、施設の良好を保つ

④日常点検の徹底と支障ある箇所の適切な修理、改修

修理改修 防火設備 受水槽ポンプ修繕 厨房レンジオイルカップ修繕

購入設置 プロジェクター1台 エアコン1台 液晶テレビ1台

### 4. 会議の開催

法人の運営に必要な会議の開催

①定時理事会 令和元年5月27日開催

②定時総会 令和元年6月17日開催

③予算承認理事会 令和2年3月19日（決議省略）

# 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	365,196	337,990	27,206
預金	14,428,205	10,167,793	4,260,412
未収入金	1,457,641	3,203,075	△1,745,434
流動資産合計	16,251,042	13,708,858	2,542,184
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
退職給付引当資産	0	0	0
減価償却引当資産	0	0	0
特定資産合計	0	0	0
<b>(2) その他固定資産</b>			
建物	106,756,238	112,480,621	△5,724,383
建物付属設備	12,366,745	14,185,544	△1,818,799
構築物	314,608	371,994	△57,386
車輛運搬具	1	1	0
什器備品	2,809,569	3,294,604	△485,035
土地	33,594,900	33,594,900	0
電話加入権	137,919	137,919	0
その他固定資産合計	155,979,980	164,065,583	△8,085,603
固定資産合計	155,979,980	164,065,583	△8,085,603
<b>資産合計</b>	172,231,022	177,774,441	△5,543,419
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	3,410,050	5,168,378	△1,758,328
預り金	212,784	206,561	6,223
未払消費税	1,003,600	1,244,700	△241,100
流動負債合計	4,626,434	6,619,639	△1,993,205
<b>2. 固定負債</b>			
長期借入金	2,954,170	4,866,325	△1,912,155
退職給付引当金	8,910,000	8,141,000	769,000
長期未払金	2,433,996	3,758,508	△1,324,512
固定負債合計	14,298,166	16,765,833	△2,467,667
<b>負債合計</b>	18,924,600	23,385,472	△4,460,872
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
受取寄付金			0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
<b>正味財産合計</b>	153,306,422	154,388,969	△1,082,547
<b>負債及び正味財産合計</b>	172,231,022	177,774,441	△5,543,419

# 貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科目	実施事業等会計	その他事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金	0	0	365,196		365,196
預金	0	0	14,428,205		14,428,205
未収入金	0	1,457,641	0	0	1,457,641
流動資産合計	0	1,457,641	14,793,401	0	16,251,042
2. 固定資産					
(1) 特定資産					
退職給付引当資産					0
減価償却引当資産					0
特定資産合計	0	0	0	0	0
(2) その他固定資産					
建物	11,209,406	93,518,463	2,028,369		106,756,238
建物付属設備	1,179,865	10,973,381	213,499		12,366,745
構築物	33,032	275,598	5,978		314,608
車輛運搬具	0	0	1		1
什器備品	48,534	2,761,035	0		2,809,569
土地	3,527,465	29,429,132	638,303		33,594,900
電話加入権	20,688	103,439	13,792		137,919
その他固定資産合計	16,018,990	137,061,048	2,899,942	0	155,979,980
固定資産合計	16,018,990	137,061,048	2,899,942	0	155,979,980
資産合計	16,018,990	138,518,689	17,693,343	0	172,231,022
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払金	474,681	2,616,528	318,841	0	3,410,050
預り金	31,918	159,588	21,278		212,784
未払消費税	107,385	896,215	0		1,003,600
					0
流動負債合計	613,984	3,672,331	340,119	0	4,626,434
2. 固定負債					
長期借入金	310,188	2,587,853	56,129		2,954,170
退職給付引当金	1,336,500	6,682,500	891,000		8,910,000
長期未払金	255,570	2,132,180	46,246		2,433,996
固定負債合計	1,902,258	11,402,533	993,375	0	14,298,166
負債合計	2,516,242	15,074,864	1,333,494	0	18,924,600
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 指定正味財産					
受取寄付金					
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)					
(うち特定資産への充当額)					
2. 一般正味財産					
(うち基本財産への充当額)					
(うち特定資産への充当額)					
正味財産合計	13,502,748	123,443,825	16,359,849	0	153,306,422
負債及び正味財産合計	16,018,990	138,518,689	17,693,343	0	172,231,022

# 令和 1年度 正味財産増減計算書

自 平成 31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金			
受取入会金	0	0	0
② 受取会費			
正会員受取会費	670,000	670,000	0
③ 研修・講演会事業収入			
講習会収入	580,000	830,000	△250,000
④ 施設貸与事業収入			
宿泊収入	31,252,707	32,205,200	△952,493
研修室収入	5,765,500	6,752,000	△986,500
体育館収入	2,867,800	2,166,580	701,220
機材収入	561,380	596,687	△35,307
食堂収入	2,648,211	2,915,182	△266,971
⑤ 雑収益			
雑収入	1,240,641	1,997,750	△757,109
受取利息	138	105	33
⑥ 他会計からの繰入額	0	0	
経常収益計	45,586,377	48,133,504	△2,547,127
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	2,052,431	1,728,000	324,431
給料手当	12,724,643	12,461,507	263,136
臨時雇賃金	1,718,500	1,606,030	112,470
退職給付費用	692,100	774,900	△82,800
法定福利費	2,228,195	2,042,582	185,613
厚生費	336,549	340,693	△4,144
通信費	143,473	146,467	△2,994
器具費	563,681	620,034	△56,353
修繕費	923,515	1,539,953	△616,438
旅費交通費	580,196	522,294	57,902
電気料	3,046,930	3,009,406	37,524
水道料	1,365,742	1,411,090	△45,348
光熱費	2,833,253	2,688,663	144,590
賃借料	252,856	235,327	17,529
保険料	424,439	424,439	0
諸謝金	1,280,000	1,520,000	△240,000
租税公課	98,478	289,542	△191,064
事業雑費	0	400,384	△400,384
事務用品費	7,788	191,512	△183,724
環境衛生費	2,713,354	3,214,710	△501,356
除雪費	1,242,303	1,205,941	36,362
減価償却費	7,941,193	7,941,193	0
支払利息	78,328	115,441	△37,113
図書費	89,304	89,304	0

科目	当年度	前年度	増減
②管理費			
会議費	16,488	28,721	△12,233
役員報酬	228,047	192,000	36,047
給料手当	1,413,849	1,384,612	29,237
退職給付費用	76,900	86,100	△9,200
法定福利費	247,576	226,953	20,623
厚生費	37,394	37,853	△459
通信費	15,942	16,274	△332
車両費	104,002	276,368	△172,366
修繕費	17,887	29,826	△11,939
旅費交通費	64,466	58,033	6,433
電気料	59,013	58,286	727
水道料	26,452	27,330	△878
光熱費	54,875	52,074	2,801
賃借料	28,094	26,148	1,946
保険料	98,631	149,321	△50,690
租税公課	59,907	96,408	△36,501
雑費	459,450	412,450	47,000
事務用品費	865	21,279	△20,414
交際費	19,636	31,249	△11,613
広報費	79,660	79,660	0
環境衛生費	52,551	62,262	△9,711
除雪費	24,061	23,357	704
減価償却費	144,410	432,675	△288,265
支払利息	1,517	2,236	△719
雑損	0	0	0
③他会計への繰出額	0	0	0
経常費用計	46,668,924	48,330,887	△1,661,963
当期経常増減額	△1,082,547	△197,383	△885,164
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	0	0	
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
什器備品除却損	0	0	
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	△1,082,547	△197,383	△885,164
一般正味財産期首残高	154,388,969	154,586,352	△197,383
一般正味財産期末残高	153,306,422	154,388,969	△1,082,547
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取補助金			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	153,306,422	154,388,969	△1,082,547

# 令和 1年度 正味財産増減計算書内訳表

自 平成 31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日

(単位:円)

科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	繰1 研修・講演会	他1 施設の貸与			
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 受取入会金					
受取入会金	0	0	0		0
② 受取会費					
正会員受取会費	0	0	670,000		670,000
③ 研修・講演会事業収入					
講習会収入	580,000	0	0		580,000
④ 施設貸与事業収入					
宿泊収入	0	31,252,707	0		31,252,707
研修室収入	0	5,765,500	0		5,765,500
体育館収入	0	2,867,800	0		2,867,800
機材収入	0	561,380	0		561,380
食堂収入	0	2,648,211	0		2,648,211
⑤ 雑収益					
雑収入	0	0	1,240,641		1,240,641
受取利息	0	0	138		138
⑥ 他会計からの繰入額			0		0
経常収益計	580,000	43,095,598	1,910,779	0	45,586,377
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	342,072	1,710,359			2,052,431
給料手当	2,120,774	10,603,869			12,724,643
臨時雇賃金	183,880	1,534,620			1,718,500
退職給付費用	115,350	576,750			692,100
法定福利費	371,366	1,856,829			2,228,195
厚生費	56,091	280,458			336,549
通信費	23,912	119,561			143,473
器具費	14,092	549,589			563,681
修繕費	98,847	824,668			923,515
旅費交通費	96,699	483,497			580,196
電気料	326,124	2,720,806			3,046,930
水道料	146,180	1,219,562			1,365,742
光熱費	303,253	2,530,000			2,833,253
賃借料	42,143	210,713			252,856
保険料	45,429	379,010			424,439
諸謝金	1,280,000	0			1,280,000
租税公課	10,541	87,937			98,478
事業雑費	0	0			0
事務用品費	1,298	6,490			7,788
環境衛生費	290,421	2,422,933			2,713,354
除雪費	132,968	1,109,335			1,242,303
減価償却費	810,186	7,131,007			7,941,193
支払利息	8,384	69,944			78,328
図書費	0	89,304			89,304
② 管理費					
会議費			16,488		16,488
役員報酬			228,047		228,047
給料手当			1,413,849		1,413,849
退職給付費用			76,900		76,900
法定福利費			247,576		247,576
厚生費			37,394		37,394
通信費			15,942		15,942
車両費			104,002		104,002
修繕費			17,887		17,887
旅費交通費			64,466		64,466
電気料			59,013		59,013
水道料			26,452		26,452
光熱費			54,875		54,875
賃借料			28,094		28,094
保険料			98,631		98,631
租税公課			59,907		59,907
雑費			459,450		459,450
事務用品費			865		865
交際費			19,636		19,636
広報費			79,660		79,660
環境衛生費			52,551		52,551
除雪費			24,061		24,061
減価償却費			144,410		144,410
支払利息			1,517		1,517
雑損			0		0
③ 他会計への繰出額		0			0
経常費用計	6,820,010	36,517,241	3,331,673	0	46,668,924
当期経常増減額	△6,240,010	6,578,357	△1,420,894	0	△1,082,547



科目	実施事業等会計	その他会計	法人会計	内部取引 消去	合計
	経1 研修・講演会	他1 施設の賞与			
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
固定資産受贈益					0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
什器備品除却損	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△6,240,010	6,578,357	△1,420,894	0	△1,082,547
他会計振替	6,106,472	△11,720,256	5,613,784	0	0
一般正味財産期首残高	13,636,286	128,585,724	12,166,959	0	154,388,969
一般正味財産期末残高	13,502,748	123,443,825	16,359,849	0	153,306,422
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金					
受取補助金					
一般正味財産への振替額					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	13,502,748	123,443,825	16,359,849		153,306,422

# 財務諸表に対する注記

## ◆重要な会計方針

### ① 固定資産の減価償却

有形固定資産…定額法による減価償却を実施している。

### ② 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職金の支給に備えるため期末退職による要支給額を計上している。

### ③ リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

### ④ 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税抜き処理を採用している。

# 財 産 目 録

令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元有高	365,196	
普通預金	北洋銀行 本店他6口座	14,428,205	
未収入金	5社	1,457,641	
	流動資産合計		16,251,042
2 固定資産			
(1) その他の固定資産			
土地	6,477平米	33,594,900	
建物	(本館、体育館など)	106,756,238	
建物付属設備	(給排水設備など)	12,366,745	
構築物		314,608	
車輛運搬具	(エスティマG)	1	
什器備品		2,809,569	
電話加入権		137,919	
	固定資産合計		155,979,980
	資産合計		172,231,022
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払退職金		3,000,000	
未払金	(8件)	410,050	
預り金	(源泉所得税、社会保険料)	212,784	
未払消費税		1,003,600	
	流動負債合計		4,626,434
2 固定負債			
退職給与引当金		8,910,000	
長期借入金	(田中組)	2,954,170	
長期未払金	(北洋リース)	2,433,996	
	固定負債合計		14,298,166
	負債合計		18,924,600
	正味財産		153,306,422

# 監査報告書

令和2年5月7日

一般社団法人 企業合理化協会

代表理事 木村 輝美 殿

一般社団法人 企業合理化協会

監事 石丸 修太郎



私、監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要の決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査しました。さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類(貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書)並びに公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益(正味財産増減)の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

### (3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。